

報道関係者各位

「MIYAKE ISSEY展：三宅一生の仕事」 開催のお知らせ

【企画概要】

国立新美術館では、来る2016年3月16日(水)から6月13日(月)まで、世界的デザイナー・三宅一生氏の展覧会を開催します。2007年の開館以来、「さまざまな美術表現を紹介し、新たな視点を提起する美術館」を活動理念とする国立新美術館では、デザインは重要な展示テーマの一つと考えてきました。このたびの展覧会「MIYAKE ISSEY展：三宅一生の仕事」は、三宅氏が活動を開始した1970年から現在に至る約45年間の仕事を紹介する、これまでにない規模の展覧会となります。

三宅氏はつねに次の時代を見据えながら、新しい服づくりの方法論と可能性を示しています。それは、1960年に日本で初めて開催された世界デザイン会議において、当時、多摩美術大学図案科在学中であった三宅氏が、衣服デザインが含まれないことに疑問を持ち質問状を送ったことに始まります。既にそこには、衣服は時代と共に移ろう「ファッション」として存在するのではなく、より普遍的なレベルで私たちの生活と密接に結びついて生まれる「デザイン」であるという三宅氏の思想が見て取れます。以来、既成の枠にとらわれない自由な発想のもと、独自の素材づくりから始まり、「一枚の布」と身体との関係や、そこに生まれる「ゆとり」や「間(ま)」を追求しています。また、チームと共に粘り強いリサーチと実験を行い、革新性と着心地のよさを兼ね備えた衣服を生み出しています。

本展では、初期から最新プロジェクトまでの全仕事を通して、ものづくりに対する三宅氏の考え方やデザインアプローチを明らかにし、未来に向けた更なる創作の可能性を探ります。子どもから大人まで、誰もががつくることの楽しさに触れていただくとともに、本展が自由な発想を押し広げ、創造力を刺激する機会となれば幸いです。

【三宅一生(みやけ・いっせい)】

衣服デザイナー。1938年広島県生まれ。1970年三宅デザイン事務所設立。1973年よりパリコレクションに参加。「一枚の布」のコンセプトを基に伝統的な技と最先端の技術を応用しながら独自の服づくりを行う。2010年文化勲章受章。

【開催概要】

- ◎会期 2016(平成28)年3月16日(水)～6月13日(月)
- ◎休館日 毎週火曜日 ただし、5月3日(火・祝)は開館
- ◎会場 国立新美術館 企画展示室2E 〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2
- ◎開館時間 10:00-18:00 金曜は20:00まで ※入場は開館の30分前まで
- ◎主催 国立新美術館
- ◎共催 公益財団法人三宅一生デザイン文化財団、株式会社三宅デザイン事務所
- ◎協賛 株式会社 イッセイミヤケ
- ◎観覧料(税込) 当日:1,300円(一般) 800円(大学生)
前売/団体:1,100(一般) 500円(大学生)
*高校生、18歳未満の方(学生証または年齢のわかるものが必要)、および障害者手帳をご持参の方(付添の方1名を含む)は入場無料
*団体券は国立新美術館でのみ販売(団体料金の適用は20名以上)

- ・URL <http://www.nact.jp/>
- ・展覧会に関するお問い合わせ 03-5777-8600(ハローダイヤル)



「MIYAKE ISSEY展：三宅一生の仕事」(第一弾フライヤー)
※展覧会広報用として、こちらのチラシ画像をご使用いただけます。ご希望の場合は、別紙の申込書に必要事項をご記入の上、ファックスまたはメールにてお申込みください。
※画像は出品作品と異なる場合があります。

報道関係の
お問い合わせ

「MIYAKE ISSEY展」広報事務局(国立新美術館内)
〒106-8558 東京都港区六本木7-22-2
Tel: 03-6812-9925 / Fax: 03-3405-2531 / E-mail: miyakeisseypr@nact.jp